

次の一から三のことわざの使い方としてもっともふさわしいものをアからウの中からそれぞれ一つ選んで、その番号に○をつけましょう。

一 「石の上にも三年」

ア ただでさえ強いこのチームに、たいへん強いA選手が入ってくれたら、まさに「石の上にも三年」、ここ数年間の優勝は確実だね。

イ B選手は、日々のトレーニングを欠かさず、努力を続けた。数年後には、レギュラー選手として活やくした。まさに、「石の上にも三年」だ。

ウ つい先日、新学期が始まったばかりだと思ったのに、もう、思い出の文集を作る時期になった。「石の上にも三年」というけれど、時間がたつのは、本当に早いものだね。

二 「雨降って地固まる」

ア 小さなミスもあつてはいけない。Cさんは、こつこつと時間をかけて、まさに「雨降って地固まる」かのように作業を進めていった。

イ 旅行に出発するまでは、いろいろ心配なこともあつて、やめようかと思ったこともあつた。けれど、せつかくの機会だったので、思い切って出発してみると、楽しいことがいっぱいあつた。まさに、「雨降って地固まる」だ。

ウ 昨日、あんなにけんかしていた二人が、今日はびっくりするほど仲よくなっている。「雨降って地固まる」というけれど、たまにはけんかするもの悪くないね。

三 「灯台もと暗し」

ア 近所にこんなにしてきな花畑があるなんて知らなかった。まさに「灯台もと暗し」だ。

イ 「灯台もと暗し」というけれど、自分の家よりずっとよその家の方がよく見えることがあるでしょう。

ウ 何度注意しても「灯台もと暗し」だね。同じ失敗をくりかえしているじゃないか。

一 イ

ア 正しくは、「鬼に金棒」「弁慶になぎなた」「虎に翼」など。
ウ 正しくは、「光陰矢のごとし」「歳月人を待たず」「一刻千金」など。

二 ウ

ア 正しくは、「石橋をたたいてわたる」「転ばぬ先のつえ」「浅い川も深くわたれ」
「念には念を入れろ」など。
イ 正しくは、「案ずるより産むが易し」「窮すれば通ず」など。

三 ア

イ 正しくは、「隣の花は赤い」「隣の芝生は青い」など。
ウ 正しくは、「ぬかにくぎ」「のれんに腕押し」「豆腐にかすがい」など。